

川口市立医療センター広報紙

はな みず き  
**花水木**

特集

2020.11.1 Vol.46

命に関わる動脈硬化



撮影場所:グリーンセンター



川口市立医療センター  
イメージキャラクター「みみたーず」  
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、  
安全で質の高い医療を提供します

## 「腎臓病教育チーム」の活動

慢性腎臓病（CKD）とは、様々な原因で腎臓の働きが徐々に悪くなる病気です。初期には自覚症状がほとんどありません。それが、慢性腎臓病（CKD）の怖いところで、患者を増加させている原因でもあり、新たな国民病とも言われています。腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと、自然に治ることはありません。しかし、現在では治療が可能な疾患へと変わりつつあります。より早期に発見し、より早期に治療することにより、腎臓病そのものを治癒できるのみならず、適切な治療を行うことで腎不全の進行を抑え、透析療法の開始を遅らせることが可能になってきています。当院の腎臓病教育チームでは、腎臓病の患者さんおよび家族の方を対象に、医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、ソーシャルワーカーが、腎臓病の正しい知識を伝えるためにチームで活動しています。

内容としては、「慢性腎臓病について」「腎臓の合併症とその薬」「腎臓を守るために注意すべき薬」「日常生活での注意点」「腎臓病の食事療法」「腎臓病の検査について」などをテーマに、月1回土曜日の午前中に「腎臓病教室」を開催しています。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止となっていますが、これからも市民の皆様慢性腎臓病に対する正しい知識をもっていただき、慢性腎臓病の進行を抑えていくことを目標に取り組んでいきます。



令和元年12月撮影



# 命に関わる動脈硬化

循環器科・集中治療科 八木 司

## 動脈硬化とは

心臓から全身に血液や酸素を送るために必要な血管を動脈といいます。この動脈にコレステロールなどがたまり、血管の狭窄、もしくは、閉塞が起こる状態のことを動脈硬化といいます。この動脈硬化が、心臓の血管(冠動脈)に生じると狭心症や心筋梗塞、脳への血管に生じると脳梗塞、足先への血管に生じると下肢閉塞性動脈硬化症といい、命に関わるような重篤な病気を引き起こす原因となります。

このような動脈硬化症の予防としては、高血圧、糖尿病、高脂血症などのいわゆる生活習慣病に注意することが必要です。健康診断などの結果を医師に相談し、生活習慣病を予防・治療することにより、動脈硬化を防ぐことも可能となります。

当センターの循環器科では、動脈硬化の予防をはじめ、命に関わる急性心筋梗塞や狭心症に対して、川口CCUネットワークへ参画し、24時間いつでも、カテーテルと呼ばれる細い管状の治療器具を手足の血管から挿入するカテーテル治療を行える環境を整備しています。また、動脈硬化は全身の動脈に生じる可能性があり、総合病院である特色を生かし、様々な診療科と協力して、患者さんに安心して医療を受けられるよう取り組んでいます。

特に、最近では、皮膚科や整形外科領域に及ぶ多彩な症状が出現する下肢閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療についても積極的に取り組んでいます。

## 下肢閉塞性動脈硬化症とは

下肢閉塞性動脈硬化症の症状の一例としては、「足の皮膚の色が悪い」、「足先が冷たい」、「一定の距離を歩くとふくらはぎなどが痛くなり休むと回復する」、「足の痛みのため夜、熟睡できない」といったものです。このような症状が下肢閉塞性動脈硬化症によるものか否かの診察・検査としては、実際に足を触れて、脈拍を調べることで動脈硬化の有無を調べます。また、足と腕の血圧を測定し、その比を計算することにより、足の血液の流れを調べます。この比が0.9以下となった場合、下肢閉塞性動脈硬化症の可能性が高くなります。当センターでは、さらにCT検査やMRI検査を行い、動脈硬化の場所を特定し、治療方針を決めています。治療としては、運動療法、薬物療法、カテーテル治療、手術療法といったものがあります。上記のような症状を自覚した際は、まずはかかりつけの先生にご相談ください。



## 研修医制度 ~24時間すべてが学びの場~

当センターには、現在24人の研修医がいます。国家試験に合格した医師は、原則として5年の臨床研修を受けなければなりません。前期の2年間は医師としての基本的な診療能力を身に付けるための初期研修、後期は志望する診療科の専門医となるための後期研修です。

今回は、当センターで行われている初期研修をご紹介します。

### 指導医や上級医のもとで研修

こちらは、当センターで研修医が行う2年間の研修プログラムです。診療科は多岐にわたります。「選択」期間では、自分が学びたい診療科を選んで研修を実施します。

内科	救命救急	小児科	外科	産婦人科	精神科	地域医療	選択
28週	12週	4週	8週	4週	4週	4週	40週

研修医という名称ですが、医師免許が与えられている医師ですから、外来で市民の皆さんの診療、病棟では受け持ち医となり、責任をもって入院患者さんの診療に当たっています。また、各種検査を行い、手術にも参加するとともに、救命救急センターに搬送される重症の方々の診療も行います。とはいえ、まだ研修中の身ですから、経験豊富な医師のように何でも上手にできるわけではありません。皆さんに安心して診療を受けていただけるよう、研修医だけの診療を行うことは当センターでは認めていません。必ず、指導医や上級医と一緒にを行います。

### 診療以外も学びの場

院内で行われる各種の勉強会や会議、病院旅行などのレクリエーション(今年度は中止)にも参加し、積極的にさまざまな職種の職員とも交流を図り、社会人としてのマナーやコミュニケーション能力も身につけ、この2年間で医師としてだけでなく人間的に成長できる研修を目指しています。

今日も研修医は懸命に頑張っています。今後も、皆さんには研修医と一緒に育てていただけるようご協力をお願いします。



## 地域医療の 仕組み



専門的な治療や  
特殊な検査

日常的な  
診察



医療センター  
(地域医療支援病院)

紹介 重症  
治療後 紹介



お近くの診療所など  
(かかりつけ医)



### バス案内(国際興業バス)

#### 川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

#### 西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

#### 藤駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

#### 赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

### 循環バス(川口市コミュニティバス)

#### みんななかまバス

### 埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

### 駐車場のご案内

**駐車料金** 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。  
(1,000円券・3,000円券)

**駐車台数** 約600台収容



ホームページ

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)